

100年後の

ふるさとへの贈り物

日向小学校総合学習「エコ活動」森林に関する活動

山武杉で箸^{はし}をつくろう・バイオプラスチックにデザインしよう

：年々荒廃しつつある里山の保全と活用について、サンブスギを活用したものづくりを通して、里山の荒廃した現状と自然の大切さを理解し、学ぶ、地域里山自然学習。



二人一組でバイオプラスチックに絵を描き入れます

わたしたちの市には多くの豊かな自然環境が残っています。特に山武地域は、林業の盛んな地域で建具の産地としても知られています。

しかし、森林・林業の担い手の減少、間伐など手入れの問題、また、サンブスギが非赤枯性溝腐病に侵されるなど大きな問題となっています。

日向小学校6年生は、6月29日にあららぎ館で、地域の資源サンブスギを活用した箸（はし）づくりとバイオマスプラスチック（木質70%使用）でスクエアポット作りに挑戦しました。

これは、エコ活動の一環として、自分の住んでいる地域の資源を活

用した活動を体験することで、歴史や文化を知ってもらおうと。

また、わたしたちの未来の地域づくりを考えるきっかけとなるように行われたものです。

『箸^{はし}づくり』を指導してくれるのは、里山再生など環境保全を図る活動を行っているNPO法人さんむ環境連協の方々です。

『バイオプラスチックにデザインしよう』は、「バイオマスを体験して自然に触れ合って楽しんでいただくさい」と話す俊和テクノスの水上さんです。

子どもたちは、地域の資源、自然に触れ合い、初めて使うカンナ等に悪戦苦闘しながら一生懸命取り組んでいました。

指導を受けてスギを削ります



上手にできるかな



マイ箸のできあがりです



どんな絵にする？

